

令和7年度 鯖江高等学校定時制 学校評価書

R8.2.13

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1 教育課程 ・ 学習支援	<p>①日々の授業や課題への取組を通して、一般教養を身につけさせる。 目標指数80%</p> <p>②考查前の図書室の開放、考查前の復習や考查後の補習を通して学習支援を行う。 目標指数80%</p>	<p>①昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は92%→94%、保護者は92%→94%と数値をさらに伸ばして目標を達成した。知的好奇心を刺激することを意識した授業づくりの成果であろう。企業への就職のほか大学・専門学校への進学も含めた多様な進路選択を見据え、さらなる基礎学力の定着と学習意欲の向上を図っていく。</p> <p>②昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は90%→86%、保護者は74.5%→75.4%、という結果になった。生徒の学習意欲を維持するために、考查前の復習や、考查後の教科補習を充実させていることもあり、多くの生徒に基礎学力の定着が見られる。また、保護者は昨年よりも本校での学習支援に理解を示しているが、まだ不十分である。</p>	<p>①生徒の興味・関心を引き出すことを主眼に置いた授業づくりを継続していく。教科横断を意識した内容を導入する。キャリアテストの内容については、グループに応じて、各生徒に必要な知識や能力を高めるための手立てを考えていく。</p> <p>②日々の授業だけでなく、考查前の質問会や自習室開放、考查後の教科補習において引き続き丁寧な学習指導を行っていく。保護者会時には、各教科の授業での生徒の頑張りを伝えることで、保護者の理解をさらに深めていく。</p>
2 生徒支援	<p>①定期的な容儀検査で、みなの個別指導を徹底し、規範意識を高める。 目標指数90%</p> <p>②登校と下校時に、校門付近で声かけを行い、交通安全指導を行う。 目標指数90%</p> <p>③生徒間の支え合いを通じたいじめ・不登校・問題行動の防止に取り組む。 目標指数90%</p>	<p>①昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は86%→84%、保護者は100%→100%という結果だった。生徒の数値は若干下がったものの、身なり指導に素直に従う生徒が多く、頭髮・化粧の違反は比較的少ない。引き続き目標指数を高水準で設定し、今後も落ち着いた学校生活を維持していきたい。</p> <p>②昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は86%→85%、保護者は98%→94%という結果だった。挨拶をする習慣はほとんどの生徒が身につけている。登下校時にはもちろん、様々な場面で意識的に教員が生徒に声をかけ、生徒のコミュニケーション能力の育成を図っている。</p> <p>③昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は86%→92%、保護者は87%→91%と目標を達成した。クラスでのロングホーム等の時間や全校生徒参加の球技大会、レクリエーション大会等の学校行事を通して生徒間の親睦を深め、思いやりや助け合いの心を培った結果であろう。</p>	<p>①引き続き全教職員が共通理解を図り、同じ規範意識で指導にあたる。頭髮や化粧などは、日常的な容儀指導を通して生徒の社会性や品位の向上を図る。</p> <p>②日々の登下校指導をはじめ日ごろの生徒支援を通じて、生徒の安全確保や生徒理解・把握に努め、今後も生徒のソーシャルスキルの育成につなげていく。</p> <p>③SC、SSWを含めた教職員がカウンセリングマインドを持って学校教育活動のあらゆる場面での生徒への積極的な声かけと、個人面談、保護者との情報交換を丁寧に行い、いじめや問題行動等の未然防止、生徒理解に全力で取り組む。</p>
3 進路支援	<p>①キャリア教育研修やキャリアテスト、インターンシップ、学校設定教科「ライフキャリア」等を通して、自分の進路について考えさせる。 目標指数80%</p> <p>②進路支援における面談や面接指導を行う。 目標指数90%</p>	<p>①昨年度に続き目標値を80%とし、生徒は80%→78%、保護者は92%→94%という結果になった。生徒の数値はやや下がったものの、進路意識を深めるために一人ひとりに応じた進路支援やアドバイスを丁寧に積み重ねることで進路意識を深め、各生徒の進路実現につなげることができた。</p> <p>②昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は90%→86%、保護者は98%→99%と目標を達成した。今年度も産業人材コーディネーターや教員による指導が丁寧になされた結果、県内大学へ4名進学し、就職は12名が正規採用内定となった。求職者の就職率は100%だった。</p>	<p>①卒業生からのアドバイスや卒業予定者の体験談を聴講するなど効果的な取組を中心に、今後も引き続きアルバイトを推奨し、進路意識を高める講演会等を充実させていく。</p> <p>②社会情勢を把握しつつ、産業人材コーディネーターやハローワーク、市の福祉課などと連携して、より充実した進学・就職支援に努めていく。</p>
4 安全管理 ・ 施設設備	<p>①清掃の指導・監督を通して学習環境の美化や美化意識の向上に努める。 目標指数90%</p> <p>②「保健のことで」（保健だより）による啓発や、日々の健康観察による保健意識の向上に努める。 目標指数80%</p>	<p>①昨年度に続き目標値を90%とし、生徒は100%→97%、保護者は98%→96%、教員は100%→100%と目標を達成した。本校の清掃活動や校内美化への取組は、昨年同様高評価を維持している。</p> <p>②目標値を80%とし、生徒は84%→82%、保護者は83%→81%と目標を達成した。毎月発行の保健だよりの内容について、教室に掲示したり、SH等で取り上げて説明するなど生徒の健康への意識高揚を図った。</p>	<p>①清掃の監督を通して、自分たちの学校生活空間だという意識を生徒たちが持つよう、引き続き生徒と教員と一緒に学校内の美化活動に取り組む。</p> <p>②生徒一人ひとりが自分や周囲の健康に気を配ることができるよう、普段のコミュニケーションや関連諸行事の中で保健衛生意識の啓発や向上に努める。</p>
5 開かれた 学校づくり	<p>①保護者会等における生徒の作品、活動写真等の展示を工夫し、学校生活への保護者の理解を深める。 目標指数90%</p> <p>②学校通信やホームページ、公開授業、陽峰等を通して、教育課程や学校の取組への保護者の理解を深める。 目標指数90%</p>	<p>①昨年度に続き目標値を90%とし、保護者は94%→84%、教員は100%→100%という結果だった。恒例となった保護者会での生徒作品や活動写真の展示は大変好評であり、教員側としても大変価値のある企画として今後も継続していく。</p> <p>②昨年度に続き目標値を90%とし、保護者は85%→86%、教員は100%→100%と目標まであと一步という結果だった。学校通信やホームページ、陽峰の更なる充実を目指すとともに、些細なことでも保護者と連絡を取り合う努力をしてきた成果と思われる。</p>	<p>①保護者が学校生活についてさらに理解を深めるとともに協力を得られるよう、展示の内容や掲示物の種類に変化をつけたり、保護者が見やすいように展示場所を工夫したりする。</p> <p>②ホームページにおいては、生徒の声を主眼に置いた学校行事等の記事の作成に心掛け、継続的な学校通信の発行を続けるとともに、適切な保護者への連絡を積み重ねて、開かれた学校づくりを目指す。</p>